

社協あやせ

Ayase Council of Social welfare

「社協」とは社会福祉協議会を略したものです。

http://www.ayase-shakyo.or.jp/

info@ayase-shakyo.or.jp

@ayaseshakyo

綾瀬市社会福祉協議会



市内の地域活動を覗いてきました

第1回 フードリンクあやせ

令和3年3月26日、27日に綾瀬市保健福祉プラザで、「フードリンクあやせ」を開催しました。このフードリンクあやせとは、食品ロス削減に貢献するとともに、様々な理由で食料を必要とされる方へ、無償で提供する活動です。

フードリンクあやせを開催するにあたって、市内の地域活動団体のご協力を頂きました。また、食料については地域住民の皆様をはじめ、近隣企業や様々な団体のご協力を得て、約4500品の寄付を頂きました。

当日は約100名の方が来場して食料を提供することができました。この活動は今回だけではなく、継続して実施していく予定ですので開催した時には気軽にお立ち寄りください。



フードリンク

寺尾南パトロール隊の活動

寺尾南パトロールは平成18年の結成以来、地域から犯罪や交通事故を無くし「安全で安心な地域づくり」目指して、地域で活動しているボランティア団体です。

寺尾南パトロール隊の主な活動は児童を交通事故から守るため、登下校時に合わせて30名ほどの隊員が交差点や横断歩道といった危険箇所にとって通学路の安全確保のため活動しています。子どもの見守り活動だけでなく、寺尾南地域全体をパトロールしながら防犯活動も取り組まれています。

そして、毎週火曜日の夕方からは環境美化活動でゴミ拾いなども行っております。コロナ渦においては、活動を制限されていたそうですが、可能な範囲で見守り活動等をされていたようです。



寺尾南パトロール隊



フードリンク



寺尾南パトロール隊
土屋さん

地域に住んで約50年が経ち、地域への恩返しのできる活動が続いています。

見守り活動をしていると子どもから声をかけられたり、小学校から感謝状をもらったりして、活動を続けて良かったと思うことがたくさんありました。

現在は60名程の隊員で活動しています。今後も安全で安心な地域づくりを目指していきたいと思っています。

地域では、様々な地域活動がたくさん行われています。今後も市内の地域活動を社協あやせに掲載していきたいと思っておりますので、皆さんからの情報をお待ちしています。

社協あやせは、会費及び共同募金配分金をもとに発行しています。

住民一人ひとりの参加でともに支えあうまちづくりを進めます

令和3年度 社協会員(会費)募集のお願い

本会では、市民の皆様や事業所様に会員に加入していただき、その会費を財源として、地域福祉活動の啓発をはじめ、交流事業の開催、自治会活動支援、地区社協活動支援などに取り組んでいます。

今年度も、会員(会費)の募集を行いますので、市民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

会員(会費)制度は、皆様に財源面から参加、支援を受け、その趣旨を大切に、地域の福祉事業活動を支えています。



会員(会費)募集は、次の3つの区分でご協力をお願いしています。

区 分	内 容
1 住 民 会 員	自治会を通じて各世帯にご協力をお願いしている会費です。 お願いしたい額は、一口400円を目安とさせていただいています。 (400円未満の方については、賛助金としてお受けいたします。)
2 構 成 会 員	本会を構成する福祉団体、福祉施設、関係協力団体からの会費です。 (一団体 一口1,000円)
3 特 別 賛 助 会 員	事業所や商店及び個人にご協力をお願いしている会費です。 (事業所・商店には、一口5,000円、個人は、一口1,000円を目安にお願いをしています。)

よく寄せられる質問

Q 毎年7月、8月になると「社協会員(会費)募集のお願い」が来ますが、社協とは、どのような団体なのですか？

A 正式名称は「社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会」といいます。社会福祉法第109条に規定される「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体で、各都道府県・市区町村に一つずつ組織される民間の団体(社会福祉法人)」です。

綾瀬市では、昭和27年に任意の民間団体として設置され、昭和57年に「社会福祉法人」の認可を得て、今日に至っています。

Q 集めた会費は、どのように使われるのですか？

A 会費は、地区社協活動支援、ボランティア事業、福祉啓発、交流事業、住民参加型支援事業など地域福祉活動を行うための事業費の一部として活用させていただきます。

また、自治会を通じてご協力いただいた会費の一部を「地域福祉事業交付金」として自治会で実施される福祉事業のために還元しています。

ご協力いただいた会費は、各事業費の一部として全額活用いたします
【社会福祉事業予算1億5,140万円の内、会費予算750万円(構成率約5%)】

**住民参加型支援事業のために
(401,000円:約5%)**

サービスセンター事業、
移動支援事業などに



**その他事業のために
(117,000円:約2%)**

地域福祉活動計画推進に



**14自治会活動支援のために
(609,000円:約8%)**

地域福祉事業交付金

**啓発、交流事業開催のために
(2,016,000円:約27%)**

社協あやせの発行(年4回)、
社会福祉表彰式、
福祉ふれあいまつり、
福祉レクリエーション大会の
開催などに



**令和3年度
会費予算額
【7,500,000円】**

**14地区社協活動支援のために
(2,200,000円:約29%)**

地区社協活動支援、講座、
地区社協活動助成金などに



**ボランティア事業
福祉人材確保事業のために
(2,157,000円:約29%)**

ボランティア相談、講座、
ボランティア団体支援、
災害ボランティアセンター活動、
当事者団体支援、
福祉人材確保事業などに



地区社協ニュース

現在、市内に14箇所の地区社協が設置され、各地区社協ごとに地域福祉活動推進のため、さまざまな活動を展開しています。今回は、綾西地区社協と中村地区社協を紹介します。

綾西地区社協

綾西地区社協のスローガンは「笑顔でつながる綾西のわ」です。

この「わ」→「繋がる輪」で使用され、勿論それは正しい理解ですが、この「わ」は他になごみの「和」や「話」そして「環（花や光のわ）」などコミュニティーに必要な不可欠な大切な複数の言葉の意味を表しています。

市内の地区社協の中で高齢化率が最も高い地域ですが元気一杯の地域でもあります。

様々な行事や活動には多くの方が参加しておりますが現状は活動範囲の制約を受けています。

例えば「公園愛護会」です、高齢化等で令和2年3月末で解散のやむ無きに至りました。

誠に残念なことです、高齢化のみならずメンバーの減少化もあります。

この傾向は他の活動にもみられますが今年の年明け以降は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からの活動中止や再開した後も活動は人数制限されるなど、やむを得ないことですが寂しい限りです。

そんな状況の中で会場が使用可能な時期を待って昨年度は主に次のような活動を行いました。

①いきいきサロン

月に1回（第4金曜日）手芸教室

人数制限の関係でこれまでは1回で30人程度の参加者を2回に分け、午前の部と午後の部の2部制にして行いました。



いきいきサロン（手芸の習得）

②ロコモティブシンドロームケア

月に1回（第1土曜日）ロコモ体操

これもいきいきサロン同様に人数制限の関係で30人程度を2回に分け、午前中に各々1時間単位の2部制にして行いました。



ロコモ体操の様子

いずれも新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言で令和2年9月～12月期間しか出来なかったため、参加者の皆さんには惜しまれながらも中断を余儀なくされ、再開を待ち望まれています。

中村地区社協

●コロナ禍での活動

この1年間、自治会館の休館などによりサロン活動は10月に1回のみ、理事会も3回、中村自治会との協力イベントは全く出来ませんでした。

しかしながら中村地区の、災害時要支援者71名の方に、暑中見舞い、寒中見舞いの他、例年より特別定額金、コロナ情報等で2回増やし、4回の葉書を出しました。その結果、コロナ禍による生活問題など地域の方々から10件のご相談ご連絡があり、いずれも民生委員と共に解決につなげることが出来ました。



2020年10月28日「にっこりほっと」活動



2020年10月28日「いちご」活動

今年は、未就園児と保護者のためのサロン活動「いちご」を8月から、介護者のためのサロン活動「にっこりほっと」を、9月からの再開を目指し準備を進めています。

皆様の参加をお待ちしています。

地区社協の活動は、皆さまにご協力いただく会費によって支えられています

知ってほしい 身近な福祉

～ 東京パラリンピック ～

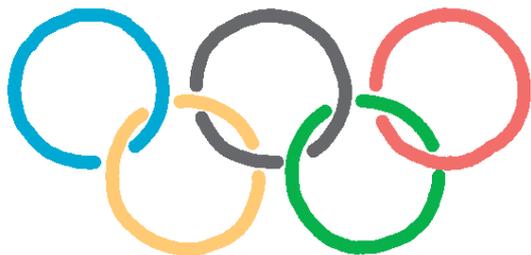
2019年12月に世界で新型コロナウイルス感染症が確認されてから1年以上が経過しました。その影響もあり、昨年開催が予定されていました東京オリンピック、パラリンピックは延期となり、今年7月に開催が予定されております。

その中で今回皆様にはパラリンピックについて簡単にご紹介をさせていただきます。



はじめにパラリンピックとは、第2次世界大戦で主に脊髄を損傷した兵士たちのリハビリの一環として行われ、1952年に国際大会となりました。

1988年のソウル大会からはオリンピックの後に同じ場所で開催されるようになり、出場者も「車いす使用者」から対象が広がり、Para（沿う、並行）+Olympic（オリンピック）という意味で「パラリンピック」という公式名称も定められました。



2000年のシドニー大会で国際オリンピック委員会（IOC）と国際パラリンピック委員会（IPC）が「オリンピック開催国は、オリンピック終了後にパラリンピックを開催する」などの基本事項に合意し、協力関係を深めていったようです。現在ではアスリートによる競技スポーツへと発展し、もう一つのオリンピックと呼ばれるにふさわしい、世界最高峰の障がい者スポーツ大会へと発展を続けています。

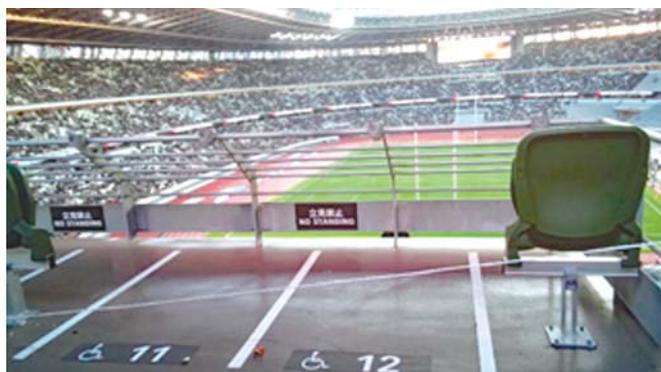
パラリンピックが行われる新国立競技場はバリアフリーへの配慮もされており、最寄り駅である都営大江戸線「国立競技場前駅」からエレベーターを乗り継ぎフラットに入場することができます。車で行く方のためにも駐車場には車椅子用駐車スペースも数十台確保され、各スタンドとの直通エレベーターも有ります。競技場内は1層から3層（2層は上下）があり全ての層に車椅子席が設置されています。



新国立競技場(駐車場)



新国立競技場(1層スタンド席)



新国立競技場(3層スタンド席)

参照：<http://barrier-free-map.com/1118.php> 『バリアフリーマップ』

今年東京で開催されるパラリンピックは8月24日～9月5日までに22競技が行われます。

コロナ禍で明るいニュースが聞こえない日々が続きますが、アスリートの方々が頑張っている姿を皆様と一緒に応援したいと思います。

令和3年度「オンライン版 青少年体験学習」 動画制作中です！



市内在住の中高生を対象として開催を予定している「オンライン版 青少年体験学習」の動画制作をする目的を兼ねて、4月26日に綾南公園で行われた、移動式こども食堂の様子を視察させていただきました。

今年度の「オンライン版 青少年体験学習」は、市内福祉施設等の業務や、団体ボランティアの活動、福祉に関するイベントの様子を動画撮影し、参加希望者に限定公開することで様々な福祉に関心を持っていただくことを目的としています。

7月からの公開に向けて、現在準備中です！



問合せ先 本会事務局 ☎ 77-8166

あなたのチカラが必要です！ 住民参加型事業協力会員(ボランティア)を募集します。

本事業はボランティアさんの協力のもとに、既存の福祉サービス(制度)では手伝えることのできない、“制度のはざま”の困りごとに寄り添う活動です。

① 生活支援事業

家事支援が主となりますが、他に子育て支援や介助を必要とする方のところへ行き誠意をもって活動できる方を募集しています。皆さんの都合の良い時間で出来る、地域のサポーターとして楽しく活動してみませんか。

*ご登録後、サービス内容や日時などの確認後に活動が始まります。

*活動時間 平日 9:00～17:00の間(土曜日でもできる方歓迎)

日曜、祝日及び上記以外の時間帯も活動する可能性があります。



② あやせ送迎サービス

自力で公共交通機関を利用しての移動が困難な方を対象に、ボランティアさんの所有する車両にて送迎を行う活動です。

*活動時間 月曜日～土曜日 7:00～19:00の間で予約のあった時間帯

※利用は完全予約制で、事前調整があります。

*市内に在住・在勤し、会員登録日前の2年間に運転免許停止処分を受けていない方

それぞれについての詳しい内容は、下記までお問合せください。



問合せ先 あやせ福祉サービスセンター ☎ 77-8667

あやせ ボランティアセンターからのお知らせ



ボランティア活動 してみませんか？

あやせボランティアセンターでは、高齢者施設等からの依頼を受け、ボランティアを紹介しています。内容は、高齢者施設内の車いす清掃や、特技や趣味を活かした歌、楽器、踊りの披露など様々です。ご興味のある方は、ボランティアセンターにお問い合わせください。

活動にあたり、団体・個人ボランティア登録もできますので、お気軽にご相談ください。

福祉教室の開催について

あやせボランティアセンターでは、市内の小・中・高校生などを対象に福祉教室を行っています。

「福祉」という言葉が正しく理解されるように、学校の福祉教育ニーズに合わせた内容

を実践しています。また、今年度より、内容の一部再編し、準備を進めております。詳しい内容、ご不明点などは、あやせボランティアセンターまでお問い合わせください。



午後はみんなのさろん についての お知らせ

新型コロナウイルス感染症再拡大の状況を鑑み、令和3年8月まで「午後はみんなのさろん」を中止させていただきます。

県内の感染状況やワクチン接種の進捗状況を考慮し、9月以降の開催について、改めて発信をさせていただきます。

ご理解、ご了承のほどよろしくお願いいたします。



問合せ先 あやせボランティアセンター ☎70-3210

